

大一新不動産

毎月社内報で情報発信 「社員全員が主役」

直近6カ月の特集	
26年1月号	小坂橋社長2026年初インタビュー
25年12月号	2025年を振り返って
25年11月号	第20回 DIオーナーズ開催レポート
25年10月号	第9回 DI祭り実施レポート
25年9月号	DIグループ20周年記念祝賀会
25年8月号	CONSTRUCTED by DI「蒲須坂駅郵便局」

※取材を基に全国賃貸住宅新聞で作成



大一新不動産
小坂橋博幸社長

管理戸数6112戸の
大一新不動産は、社員の高
満足度向上や社内理解を深
める一環として毎月社内
報を発行している。

商圏は栃木県大田原市
と那須塩原市で、賃貸管
理・仲介、売買仲介・宅
地分譲を行う。

グループ会社には、実
需用の建築からリノベ
ーションまでを手がける大
一建設。そのほか、一般
建築物の設計から施工ま
でを行うDI・SANWA
A CORPORATION
ON（ディアイ・サンワ
コーポレーション）。不
動産や建築事業以外に

は、就労継続支援事業を
行う会社や保険の契約代
理店を運営する会社など
がある。

大一新不動産は毎月、4
〜6ページほどの冊子の
社内報を発行する。

社内報で定期的に開催し
ているイベントのレポー

トのほか、社長や会社が
表彰された様子、グル
ープ会社の各事業部で取
組んでいる内容などを掲
載している。

過去に掲載されたの
は、DI・SANWA
CORPORATION
が、企画・建築した、洋

菓子の製造・販売会社車
やの「チーズガーデン
THE NIKKO（ザ
ニッコウ）」の現場を担
当した部署や担当者のイ
ンタビュー記事などを取
り上げている。

そのほか、社長が毎月
選出した社員にもインタ

ビューを実施。記事は、
業務委託しているライタ
ーが執筆する。

小坂橋博幸社長は「社
内で縁の下力持ちと言
われている経理担当者な
ど、普段は表に出ない社
員にもフォカスする。
全員が主役であることを
全社員に知ってもらいた
い」と話す。

同社は事業部が多岐に
わたるため、ほかの事業
部では何をやっているの
か、わからない人が多い
という。そのため、社内
報に掲載することで各事
業部の理解を深めてい
る。



▲稼働している宿泊施設



たなcafe
田中賢治社長

愛知県名古屋市で賃貸
管理とリフォーム事業を
手がけるたなcafe
は、宿泊施設への事業転
換サポートと運営も行

賃貸から宿泊施設へ転換支援 たなcafe 名古屋で高稼働を継続

う。田中賢治社長がバツ
クパッカーとして世界を
巡り、宿で人と交流する
体験に魅了されたことが
原点だ。会社設立時は賃
貸専門のリフォーム・管
理会社として事業を起こ
し、現在は賃貸物件を約
500戸を管理してい
る。

宿泊関連事業について
は、2020年に民泊か
ら着手した。しかし、名
古屋駅近くの空室を借
り、工事を終えた直後に
新型コロナウイルス禍に
直面。宿泊客がゼロとな
り、急ぎシェアハウス
へ転換した。個室鍵の設
置など最小限の改修で切
り替え、家賃収支を均衡

不動産マッチングサイ
ト「さかさま不動産」を
運営するOn・Co（オ
ン・コ）は1月、愛知県大
府市で、不動産オーナー
と出店希望者のマッチ
ングイベント「さかさま
シェ」を行った。大府市
およびJRR東海と連携
しての開催となる。

出店者は、店舗をほじ
めとした事業活動の拠点

を求めている事業者だ。さ
さマルシェで事業の内容
や思いを発信。訪れた不
動産オーナーが応援した
と思う出店希望者に対
し、物件を提供する仕組
みとなっている。202
5年12月に大府市で初め
て開催した際には、事業
の場を求める出店者に対
し、オーナーが相談に応
じる場面も見られたとい

good days ホールディングス
本社を渋谷区に移転
拠点集約で業務効率向上

good days（グッ
ドデイズ）ホールディング
スは、本社の移転を決定し
たと発表した。

新たな本社は、東京都渋谷
区神宮前となる。移転時
期は7月の予定だ。6月に
開催予定の株主総会で決議

された後、本社の場所を更
える。

これまで分散していた拠
点を、本社に集約。これ
により、迅速な意思決定と
社内コミュニケーションの
活性化を通じた部門間の連
携促進、業務効率の向上を
図る。これを従業員のパフ
ォーマンス向上や人材確保
にもつなげていきたい考え
だ。

マッチングイベントを開催 On・Co 大府市・JRR東海と連携

今回のさかさマルシェ
においては、第2・第3
回の出店募集で76人の応
募があった。うち19人は

大府市での出店を希望し
ていたという。出店希望
者による事業内容は、飲
食からファッション・雑
貨まで多岐にわたった。

させて事業を継続した。
その後、観光需要の回復
に合わせて23年から宿泊
業に注力し、現在、旅館業
を取得した宿泊施設とし
て12室を運営している。

田中社長は「民泊は人
が住める家なら可能だ
が、旅館業は階段幅や通
路、耐火構造など厳しい
基準がある」と民泊と旅

館業の制度の違いについ
て指摘。実際、旅館業を
取得できる宿泊施設とし
てリフォームを進めてい
た物件では、階段の高さ
が1センチ足りず、すべ
て架け替えた例もあると
いう。

名古屋市内では宿泊施
設が依然として不足して
おり、特に8人以上宿泊

できる施設は50件に満た
ないという。需要の中心
は中国や台湾、韓国など
海外からの旅行者で、日
本人の利用は5%未満
だ。賃貸から宿泊施設運
営に適している物件の条
件は、立地と収容人数
だ。名古屋駅エリアで8
人以上宿泊できる物件は
高稼働が続く。賃貸で月

5万円の部屋でも、宿泊
業では月80万円以上の売
り上げが見込めるケース
もあるという。

同社は今後も工事前から
申請、清掃、駆け付け対
応までを自社で一貫して
行う体制を強みに、名古
屋エリアを中心に宿泊ビ
ジネスを広げていく考え
だ。

魔法のような賃貸住宅の話。

家を断熱性能で選ぶと魔法のようなイイことがたくさんあります。高断熱の壁や窓は、魔法瓶のように家の熱を遮断するので、夏は涼しく、冬は暖かい。電気代は安くなるし、防音効果も期待できる。しかも健康にもいいらしい。魔法のような、ホントの話。続きは、この窓から

魔法のような賃貸住宅

賃貸住宅は、断熱性能で選ぼう。

東京都